

2026

1.14 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_aCJID2z4S8WrN51_BTLDDQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS

統計学の研究における3つの柱



Key Words

数学的統計学

産業界との共同研究

純粋数学との協働研究

統計教育

廣瀬 慧 教授

マス・フォア・インダストリ研究所

福岡県出身の統計学者。九州大学大学院数理学府にて博士（機能数理学）を2011年に取得。大阪大学助教を経て、2016年より九州大学マス・フォア・インダストリ研究所に着任し、現在は教授として統計学の研究と教育に従事している。専門は因子分析やスパース推定を中心とする多変量解析であり、電力需要予測や材料物性予測など産業応用も進めている。主な著書に『スパース推定法による統計モデリング』および『統計学の考え方』がある。また、科研費による高次元データ解析や予測モデル構築に関する研究プロジェクトに従事している。

私はこれまで、統計学、とくに数学に基づく「数理統計学」と呼ばれる分野を専門として研究してきました。しかし近年、AIの急速な発展が学問の在り方を変え、これまでと違った研究をすべきであると強く感じるようになりました。

こうした経緯から、現在は三つの柱を軸に活動しています。第一に、企業との共同研究を通じて実社会の課題を解決し、そこから生まれる数学的課題にも取り組むこと。第二に、代数などの純粋数学を用いた先鋭的な基礎研究。第三に、書籍執筆やアウトリーチによる統計教育の強化です。これら三つの柱を通じて、統計学の新しい可能性を切り拓いていきたいと考えています。